



お寺の  
掲示  
板

よそめにも  
尊かりけり  
み仏の  
み姿拝む  
人の姿は

お寺の掲示板上には  
住職・前任住職が「毎月」言葉を書いていきます。  
通りがかりの人がメモをしたりしています。  
「意味を教えてもらいたい」と、  
たずねられることもあります。  
この「お寺の掲示板」のコーナーで  
お伝えしていきます。

〈揭示月〉2020年(令和2年)9月



お彼岸の9月…今月の言葉は、  
京都女子大学の前身「顕道女学  
院」の創始者「甲斐和里子」さん  
(1868～1962)の詠まれ  
たものです。

明治の初め、日本には仏教系の  
女学校はなく、女性の地位向上の  
ためには仏教精神に基づく女子教  
育が大切であると、1899年に  
「顕道女学院」を創立しています。

8月のお盆、9月は彼岸と仏法  
にご縁の深い行事が続きます。多  
くの方が、お仏壇やお墓で手を合  
わせる機会が多くなります。「合  
掌」は、インドを起源とした礼拝の  
姿で、両手を胸または顔の前で合  
わせ、仏様や相手への深い帰依や  
尊敬の念を表しています。今でも  
インドでは「ナマステ」と合掌をし  
て挨拶します。

インドの古い言葉で、  
ナマス二敬つ  
テ二あなた

「ナマステ」二「あなたを敬います」  
です。

そんな合掌の起源を知らなく  
ても、合掌の姿は、尊く美しいも  
のです。特に、幼い子どもの合掌  
の姿は、ほほえましく可愛さも  
倍増です。

高田敏子さん(1914～1  
989)の詩に

神さまや仏さまが  
ほんとにうつしやるかどうか  
でも、あの合掌したときの安らぎは  
どこからくるのでしょ

右手の悲しみを  
左手がささえ  
左手の決意を  
右手がうけとめる

彼岸にあたり、手を合わせ、亡き  
人から、生前いただいた縁を大  
切にして、過ごしていきます。



永代経法要

先立たれた有縁の方々を偲ぶとともに、  
永代に仏様のみ教えが受け継がれることを願い  
『仏説無量寿経』をお勤めさせていただきました。  
一堂会しての法座とはなりませんでしたが  
永代経法要、無事お勤めさせていただきました。

## 10月の行事予定

- 16日(金) 宗祖命日 【時間】朝7時より 【場所】永照寺:本堂

18日(日) 婦人会 【時間】朝10時より ※昼食はありません。時間に変更されていますのでご注意ください。  
コールカンタカ・・・開始の時は連絡します。

## 宗祖命日 9月の参拝者 順不同:敬称略【13名】

|                  |                  |                 |                 |                 |                  |                 |
|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
| 茶屋本 廣喜<br>(小倉南区) | 中村 勝利<br>(門司区)   | 増田 和久<br>(小倉南区) | 古野 貞幸<br>(小倉南区) | 森下 勝美<br>(小倉北区) | 本多 義宏<br>(門司区)   | 岡本 隆夫<br>(小倉南区) |
| 中川 アサ子<br>(小倉北区) | 吉本 瑳代子<br>(小倉北区) | 青木 サツ子<br>(門司区) | 延吉 政彦<br>(小倉南区) | 山口 綾子<br>(小倉北区) | 中村 加代子<br>(小倉北区) |                 |

お知らせ

- 寺報には大切な情報が書かれていることがあります。捨てずに一読ください。
- お経本は床に置かないでください。
- 寺報が届かないことがあります。住所が変わる際は恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

永照寺 開門＞閉門の時間

開門…6時30分  
閉門…18時



凡愚のつづき

お盆からお彼岸までの間、懇志に加え  
お野菜・お米をお供えくださり  
有難うございました。

お寺は「多くのの方々の想い」に支えられている  
ということを改めて実感いたしました。  
過ごしやすい季節になりましたが、  
まだまだ不安な日々が続きます。  
どうかお体ご自愛下さいませ。